

令和8年度

三暘の子の くらしときまり



鶴岡市立朝陽第三小学校

鶴岡市新形町 17 番 24 号

TEL 22-0318

FAX 22-0319

・・・・・・・・・・ 目 次 ・・・・・・・・・・

◆ 表紙（p.1）

◆ 学校教育目標・鶴岡市子ども像・校章とその由来（p.3）

◆ 三陽しぐさ（p.4～5）

◆ 一日の暮らし（p.6～13）

- ・ 登下校
- ・ 服装、持ち物、欠席遅刻連絡
- ・ 給食
- ・ そうじ



◆ 学習の仕方（p.14～15）

- ・ 学習用具
- ・ 図書館
- ・ 家庭学習

◆ 校外生活（p.16～17）

- ・ 外出や遊び
- ・ 交通安全と自転車乗り

◆ 体力づくり（p.17～20）

- ・ 体育館 ・ グラウンド
- ・ プール ・ トイレ
- ・ 歯みがき



◆ タブレットパソコンのルール（p.21～23）

学校教育目標

つよく やさしく かしこく

- (1) よく考えて学ぶ子ども
- (2) 思いやりのある子ども
- (3) 体をきたえる子ども

最後までやりとげる子ども
ふるさと鶴岡を愛する子ども

鶴岡市子ども像

私たちは
いのち育むまち鶴岡を愛し
真心をつくし
夢に向かって学びます

校章とその由来



- 鶴岡市の「鶴（つる）」と三小の「三」をとってデザインした。
- 鶴が大空にはばたくように元気いっぱい活動し、学校が大きく伸びていくようにという願いが込められている。
- 丸い形になっているのは、みんながなかよく学校生活を送られるように…そして、心も体も大きくなるようにとつくられました。

三陽しぐさ

2013 制定

朝三小ではみんなで気持ちよく生活できるよう、自分で考えて行動できる」子どもの心の成長を願い、江戸時代の粋な心づかい「江戸しぐさ」に倣って「三陽しぐさ」を進めています。三陽の子の合言葉として、共に生きることを学ぶ窓口として、みんなで広めていきます。

見つけひろい

落とし物やごみを進んで拾おう

あい(愛)言葉

相手を思いやる愛言葉

あたたかい言葉を聞くと

あたたかい言葉を使いたくなる不思議



道具もとし

使ったらもとの場所へかたづけよう

やさしさ返し

優しさには、優しさが似合います。

聞(効)き目パッチリ

目と耳で聞けば勉強への効き目パッチリ！

こまめ消し

使わない電気はこまめに消して SDG s 生活



サンキュウ食

おいしい給食がいただけることに感謝し
残さずに食べよう



そろと廊下

ろう下や階段はしずかに右側を歩こう



ズックいたわり

ズックのかかとをつぶさず大切にはこう

先あやまり

相手を責めず、悪かったところを先にあやまろう



ニコニコあい(愛)さ2

笑顔いっぱいのあいさつで気持ちの通う学校をつくろう

目うえしゃく

目上の人とすれちがう時は「こんにちは」と軽くおじぎを



にっこり、ありが10

1日10回、笑顔をそえて「ありがとう」



目と目語り

目と目を合わせて心が通い合う会話を

先ゆずり

「先にどうぞ」とゆずり合い

さわやか美直し

ふり返って気持ちよい環境に

自分誇り

名前をよばれたらしっかり返事、持ち物には記名を

一日のくらし



登校のしかた

1. 登校班ごとにまとまって登校する。
2. 決められた通学路を通る。
 - ・ 1列で歩く。手をつないでくれるときは2列でもよい。
 - ・ グラウンドを通らない。
 - ・ 冬になったら、体育館脇（共用体育館側）の通路は使わない。
3. 学校に8時をめぐりに登校する。（昇降口は7時50分に開錠）
4. 交通ルールを守り、事故に気をつけて歩く。
 - ・ 追いつけっこなど、遊びながら歩かない。（とても危険）
5. 雨のときは、1・2年生は雨ガッパを着て登校する。
 - ・ 3年生以上は傘でもよいが、風などに気をつける。
6. 登校の途中、忘れ物に気がついても家にもどらない。
7. 学校に着いたら、すぐに教室に入り、ランドセルなどの片付けをする。

登校したら

1. はきものは、自分のくつ箱にかかとを手前にし、そろえて入れる。
（上段：内ばき、中段：外ばき、下段：登校靴）
2. かさは、まいてから雨具かけにかけるか、かさ立てに立てる。
カッパや防寒着などは、昇降口にかける。帽子や手ぶくろは、ランドセルに入れる。
3. 教室に入ったら、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをロッカーに入れる。
4. 教室においてあるネームプレートをつける。
5. チャイムが鳴るまで、自分の予定にしたがって行動する。
（係や委員会の仕事、図書の返本・貸し出しなど）
6. 委員会や学級の係で、朝の仕事があるときは、忘れずにする。
7. 集会や朝会がある日は、8時10分には学級ごとに並んで静かに移動する。
集合したら静かに待つ。
8. 集会や朝会がない日は、8時10分には着席し、8時15分から朝学習を始める。

職員室への入り方・出方

★ ランドセルや上着は廊下に置いて、印刷室側から出入りする。

1. 「失礼します。」
2. 「〇年〇組の〇〇〇〇です。」
3. 「〇〇先生に用事があったて来ました。」など
（その先生のそばに行ってから用件を話す。）
4. 用事がすんだら、向きなおって「失礼しました。」



あいさつ

1. 「おはようございます」「さようなら」といった基本的なあいさつを、いつもはっきり言う。
2. 校内で先生やお客様に会ったら、先にえしゃくをする。
3. 友だちには「さん」「くん」をつけて呼ぶ。



廊下の歩き方

1. 広がらず、右側を静かに歩く。
2. 階段は、静かに上り下りする。
階段の飛び下りをしたり、手すりに乗ったりしない。
3. 登下校の時は、中央廊下・中央階段を通る。南階段は1年生が通る。



ワークスペースの使い方

1. ワークスペースは教室と同じ。静かに使う。
2. ワークスペースの出入り口の戸を開けたら、閉める。

みんなで使うもの

1. 学校のものは、みんなのもの。大切に使い、使ったら元の場所に戻す。
2. こわしてしまったら、すぐに担任の先生に話をする。
3. 特別教室には授業で使う時以外は入らない。
4. 教室の机、配膳台、棚やロッカー、窓のしきいなどに腰掛けたり、上がったりしない。

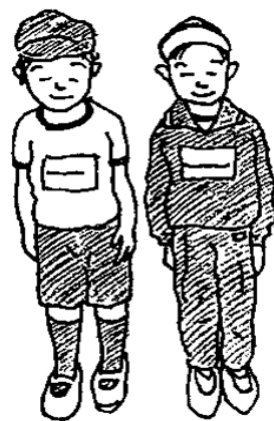
窓のあけしめについて

1. 窓のあけしめには十分注意する。
 - ・ 1・2年生は、先生があけしめをする。
 - ・ 3・4年生は、先生と一緒にあけしめをする。
 - ・ 5・6年生は、十分に気をつけて、自分であけしめをする。
2. 窓からは、絶対に物を落とさない。
3. 窓の手すりでは遊ばない。

きちんとした服そう

1. 学校生活にふさわしい活動しやすい服を着る。
2. 運動をするときは、運動着を着る。(メーカーの指定はない)
 - ・ 冬季は、長袖の青色の上下 (中には半袖、短パン)
 - ・ 夏季 (6月頃から10月頃まで) は、
上衣は、丸首で白の半袖 (襟、袖口は青線入り)
下衣は、青色のハーフパンツ
3. 内ばき・外ばきは、極端に底の厚いものはさける。
 - ・ 内ばきは、1・2年生は、白地でひもなし、3年生以上は、白地でひも付きでもよい。
 - ・ 外ばきは、特に指定はない。運動に適したもので、内ばきとは区別する。通学用の物でもよい。

※内ばき、外ばきともに、線の本数、形、メーカーなどの指定はない。



1・2年生の例



3・6年生の例



下校のしかた

1. 下校時刻は学年によってちがう。特別の用事のない時は、下校時刻を守って帰る。
2. 通学路を通り、より道をしないでまっすぐに帰宅する。
3. さそいあって2人以上で下校する。
4. グラウンドを通らない。
5. 知らない人に誘われても、車に乗ったりついて行ったりしない。

欠席や遅刻の連絡

1. 病気や都合で欠席したり、遅刻したりする場合は、次の方法で連絡する。
 - ①連絡メールで、6時から8時までに連絡する。
 - ②連絡ノートに書き、兄弟姉妹経由で担任の先生に連絡する。
 - ③電話で、7時30分から8時15分までに連絡する。

※登校班の人にも、一緒に登校しないことを知らせる。
2. インフルエンザなどの感染のおそれがある場合は、連絡ノートではなく、電話や連絡メールで連絡する。

持ち物には名前を

1. 学習用具はランドセルに入れて通学する。
2. 図書館の本は本バッグに入れて持ち運ぶ。
3. 運動着などは運動着袋に入れて持ち運ぶ。
4. 持ち物には、学年・組・名前をはっきり書く。
5. 学校には、お金を持ってこない。
6. 持ち物の記名や袋の大きさは、次のようにする。

①運動着上（胸中央）

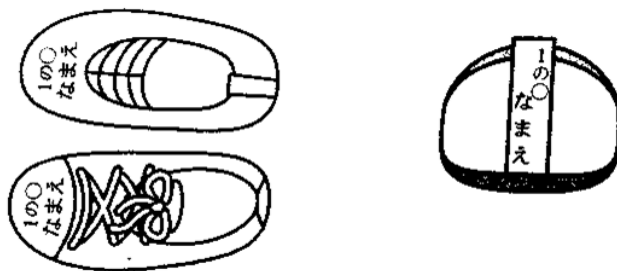


②運動着下（後ろのポケット）



③内ばきは、前の方（つま先）と、かかとのところにも名前を書く。

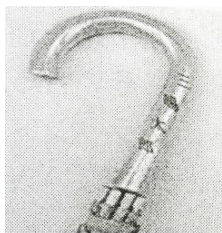
通学用の靴とは別に外ばきを準備する場合は、内ばきと同じように名前を書く。



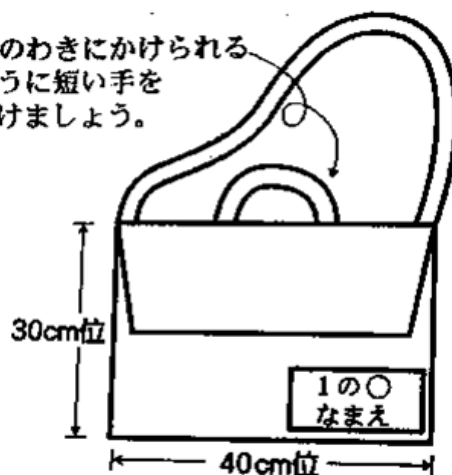
④運動するときや掃除のときは、赤白帽子をかぶる。赤白帽子、防寒具などにはかけひもをつける。



⑤かさは柄の部分に大きく名前を書きましょう。（1・2年生は雨ガッパを着ます）



机のわきにかけられるように短い手をつけましょう。



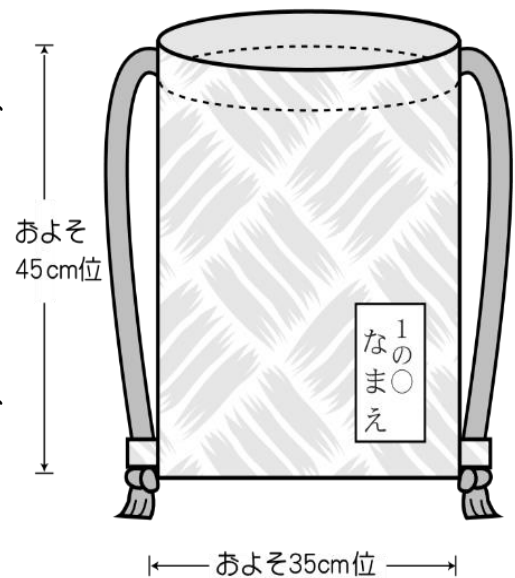
⑥図書館の本を入れる本バッグ

- ・肩からさげられるようにする。
- ・ふたがかけられるようにする。

⑦運動着袋（運動着上下）

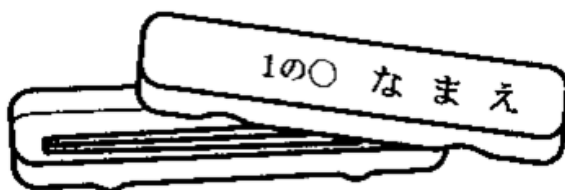
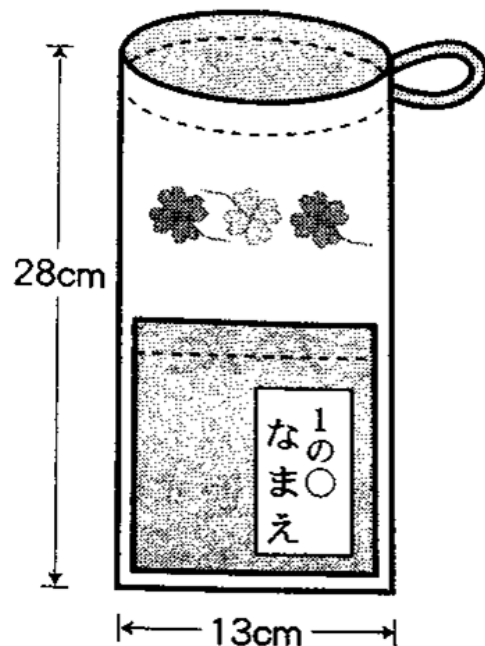
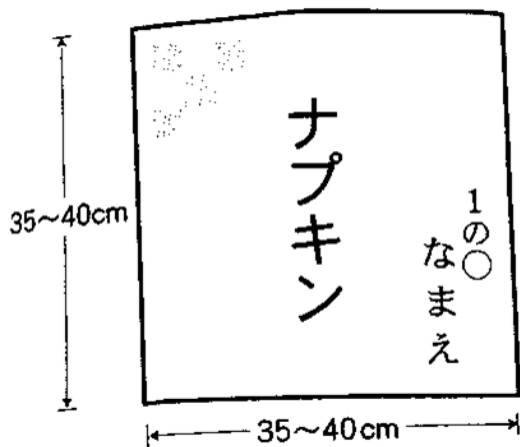
厚手の布地ではなく、なるべく薄手の布地がよい。
リュック型にしてランドセルの上から背負えりように、
ひもの長さを調整する。また、夏場は半袖・半ズボン
だけを持ち帰ることも多いので、半袖・半ズボン用の
小さい袋を用意すると便利。

- ・袋は、自分のロッカーに入れる。
- ・運動着はよごれたら、袋に入れて家に持ち帰り、
洗濯をしてくる。



⑧給食用具入れ（マスク、ナプキン、はし箱、必要な人は歯ブラシ）

- ・マスクは給食準備中に使う。いつも準備しておく。
- ・ナプキン
2～3枚準備しておき、毎日清潔なものを使う。
- ・はし箱は毎日持ち帰り、家で洗う。
- ・歯ブラシは、キャップをつけるか袋に入れて、清潔にしておく。



はし箱の上部と下部それぞれに記名

- ・はし袋にマスクを入れられる
ポケットがあると便利です。
- ・袋の口をとじた状態で、ひも
の端(上)から袋の端(下)まで
40cm位になるようにすると、
机の脇に、床につかずにかけ
ることができます。

給 食

当番活動

服 装

1. 身じたくは、エプロン、帽子（三角巾）、マスクをつける。

エプロン・三角巾は、学校の物でも、各自が家庭から持参したものでよい。

2. 給食当番は、給食袋（エプロン、帽子）を週末に持ち帰り、
る。
3. 清潔を心がけ、特に、爪は短く切る。
4. 手洗いやうがいを必ず行う。



運ぶ・もりつける

1. 牛乳、ごはん、食缶、食器かごなどの重いものは、2人で運ぶ。
2. 盛りつけたり、配ったりする仕事も、協力し合って進める。

あとかたづけ

1. 残菜は食缶に入れる。
2. 食器は、残菜や汁が残らないようにして、種類別に重ねる。
トング、へら、おたまなどの道具は、新バットに入れて返す。
3. コンテナの決まった場所に、時間までに返す。
4. デザートの入った段ボールは、たたんでコンテナの上に返す。
5. 牛乳パックは、決められたかたづけ方にしたいがい、配膳室の袋に返す。（3年生以上）
6. ごみは、種類によって捨て方や返し方がちがうので、きまりにしたいがって捨てたり返したりする。

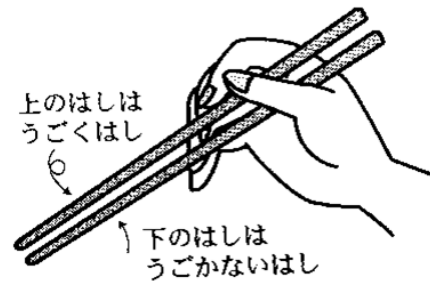
みんなの活動

準 備

1. お互いに協力して、給食の準備をする。
配膳台を整える。机、配膳台をふく。
2. 手洗いをし、マスクをつけ、ナプキン・はし箱を準備して静かに座って待つ。
3. おぼんをもらって配膳台に並ぶ。当番から給食を受け取ったら、自分の席で静かに待つ。
4. ナプキン、マスク、はし箱は、毎日家に持ち帰って、きれいに洗ったものを持ってくる。
5. 体の調子が悪い時や量を調整したい人は、先生に話をしして加減してもらう。

会 食

1. 食事のマナーを守って、楽しく食事する。
 - ・ はしを正しく持つ。
 - ・ 食べ物を口に入れたまま話をしない。
 - ・ 友だちのいやがる話やきたくない話はしない。
 - ・ ひじをついて食べない。
 - ・ ごはん、おかず、おつゆ、牛乳は、かわるがわる食べる。
 - ・ 苦手な物でも、少しずつ食べることができるようになる。
2. 食事は25分を目標に食べ終わる。
3. 校内放送があるときは、静かにききながら食事をする。



あとかたづけ

1. 食器を大切に扱い、残菜や汁が残らないようにして、種類別に重ねる。
2. おぼんがよごれていたら、ふいたり、洗ったりして返す。
3. ごみは、種類によって捨て方や返し方がちがうので、きまりにしたがって捨てたり返したりする。

そうじのしかた

基本的に、次のような方法でそうじをする。

※そうじ場所によって、変わることがある。

1. 紅白帽子をかぶりネームをつけ、分担区へ行く。

(スカートは運動着にはきかえる。)

2. はじめのあいさつをし、めあてと仕事の分担を確認する。

3. 窓を開ける。

4. バケツに水をくむ。

5. はく

- ・ 一列に並んで、ほうきの幅だけ前に進む。
- ・ ほこりを立てないように静かにはく。
- ・ ものかげ、床板のすきま、すみずみまではく。
- ・ ごみを集めたらちりとりに取り、ごみ箱に捨てる。

6. ふく

- ・ ぞうきんはきっちりしぼってたたみ、板の目に沿ってふく。
- ・ すみは、指の先を使って、ていねいにふく。
- ・ バケツの水は、汚れたらとりかえる。
- ・ たな、さん、机の上は、たなふき用のバケツ、ぞうきんを使う。

7. 机、いす、オルガン、配膳台を元の場所に整理整頓する。

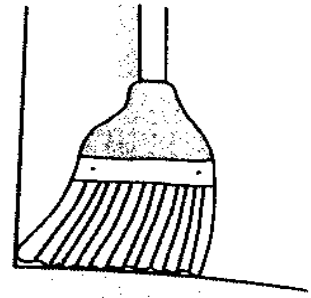
8. 用具のあとしまつをする。

- ・ ほうき、ちりとり、モップは、用具棚の中にきちんとしまう。
- ・ ぞうきんは、きれいな水で洗い、きっちりしぼってバケツの周りに広げてほしておく。

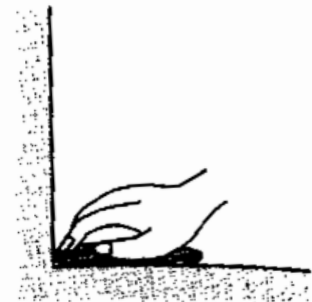
9. 窓を閉める。

10. 担当の先生と一緒に反省会をする。または、反省会の内容を担当の先生に報告する。

11. 手洗い、うがいをして、教室にもどる。



すみには、ほうきの先を
きちんとあてる。



すみは指先を使って、
ていねいにふく。



ぞうきんは、
手の大きさにたたむ。

学習のしかた

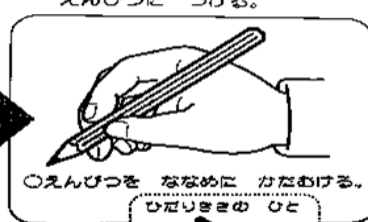
えんぴつのもちかた

①おやゆびとひとさしゆびでわをつくって、えんぴつをもつ。

②ななみゆびをまくらにして、えんぴつにつける。



○けずってあるところのすこしうえをもつ。



○えんぴつをななめにかなあける。



★めき ちがづけすぎないようにしましょう。

1. 学習の前に

(1) 学習に必要なものを忘れないように、予定表を見て、きちんとそろえておく。

鉛筆は、毎日家でけずる。

(2) 学習用具は、シンプルで無地のものを準備し、全てのものに記名する。

○筆入れ・・・低学年は箱形が望ましい。

○筆入れの中・・・〈1・2年〉鉛筆Bか2B 5本ぐらい、赤青鉛筆1本

白の消しゴム1個、名前ペン1本、定規

〈3年以上〉鉛筆BかHB 5本ぐらい、赤青鉛筆1本か赤青ペン各1本、白の消しゴム1個、名前ペン1本

定規、学年で決めたもの

○下敷き・・・無地のもの

(3) 時計を見てタイム着席をし、静かに自習をして待つ。

2. 学習の中で

(1) 正しい姿勢で学習に取り組む。

(2) 先生や友だちの話を良く聞き、自分の考えをしっかりと持って進んで発表する。

〈聞き方のポイント〉

①まず、しっかりと聞こうという気持ちを持つ。

②話の中身を頭に思い描いて、考えながら聞く。

③耳だけでなく、目でも聞く。話し手の方をよく見て聞く。



〈発表のしかたのポイント〉

	話し方の目標	話型の例
低学年	自分が思ったことを話す。	はい、～です。 わたしは、～だと思います。
中学年	理由を明らかにして話す。	わたしは、～だと思います。わけは、～だからです。 わたしは、～に賛成です。理由は、～だからです。
高学年	友だちの意見につなげて話す。	つけたして言うと～。～に質問ですが～まとめて言うと、～。

3. 図書館利用

(1) 貸し出しの時間は、次の通り。

朝（～8：10）、中間休み、昼休み

(2) 貸し出し日数は7日間。返却日を守る。毎日2冊まで借りることができる。

(3) 本は必ずビニール・本バックに入れて持ち歩く。

(4) 図書室の本は、みんなで使う大切なもの。ていねいに扱ってみんなが気持ちよく読書できるようにする。

(5) 調べ学習でも図書室を利用する。

読書のめあて

1・2年…80冊	3・4年…60冊	5・6年…40冊
----------	----------	----------

4. 家庭学習

(1) 家庭学習の手引きを参考にして、宿題や自主学習に取り組む。

(2) 自分から進んで学習する習慣を身につける。

(3) しっかりとした基礎基本となる学力を身につける。

○家庭学習の習慣づくり

(1) 毎日、なるべく決まった時間に勉強する。

(2) テレビを見ながら、おやつを食べながらなどの「ながら勉強」はしない。

(3) 机の上をきれいにし、姿勢良く行う。

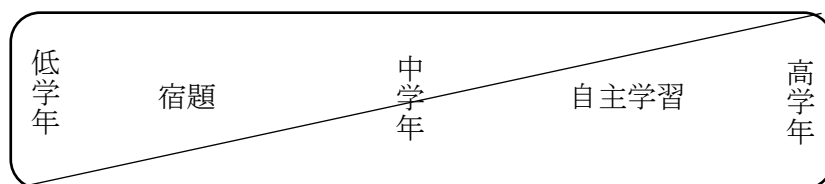
○家庭学習のめやす〈めやすは、最低限の時間です。〉

学年×10分以上（例えば、3年生なら $3 \times 10 \text{分} = 30 \text{分以上}$ ）

*期待する時間 低学年20～30分 中学年40分～50分

高学年60分～70分

*宿題と自主学習の割合



校外生活



外出するとき

1. 家の人に行き先や帰る時刻を伝える。
2. 子どもだけでは、学区外にはでない。
3. スーパーマーケットやショッピングセンター、ゲームセンターなどではお家の人と一緒に行動する。
4. 夕方は、早めに家に帰る。
家へ入る時刻・・・4月～9月 午後6時まで家に帰る。
10月～3月 午後5時まで家に帰る。
5. 知らない人のさそいにはのらない。
 - ・知らない人の車に乗らない
 - ・あぶないときは、「子ども110番」のお店や近所の家などに助けを求める。
6. お花見やお祭りには、子どもだけでは行かない。

遊びについて

1. 一度、家に帰ってから出かける。
2. きけんな遊び、きけんな場所での遊びはしない。
 - ・火遊び・川のそば・線路の近く・工事現場 など
3. 休みの日は、午前9時まで友だちをさそわない。
4. お金を持って遊びに行かない。
5. 子どもだけでお店には入らない。
6. 家の人がいらないお家には遊びに行かない。(入らない)
7. キックボードなどは公園の中でする。行き帰りは乗らない。



その他

1. テレビやゲーム、パソコン、スマホなどは、お家の人と決めたルールを守って使う。
2. インターネット・SNS上に、友だちなどの悪口、個人情報、写真などを書き込んだり流したりしない。(アップロードしない、頼まれても送らない)
3. ゲームソフトやカードなどの貸し借り、あげたりもらったりはしない。
4. お金の貸し借りや、むだ使いはしない。

交通安全と自転車乗り



1. 交通ルールを必ず守る。
2. 点検した自転車で、保護者の許可を受けてから乗る。
3. 安全のためヘルメットを必ずかぶる。
4. 1・2年生は、道路で自転車に乗らない。(お家の人と一緒にのときはよい。)
5. 3年生は、PTAの交通安全教室の後に乗ることができる。ただし、お家の人とルールを決めてから乗る。
6. 雨の日は、自転車に乗らない。
7. 雪が降ったら、春まで自転車に乗ることができない。

体力づくり

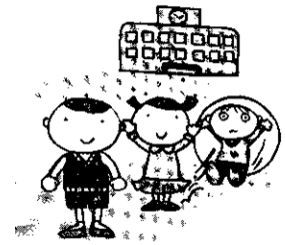
1. 水泳は、めあてに向けて一生けん命に泳ぐ。
2. なわとびは、検定に向けてたくさん練習する。
○学年のめあて 1年生…8級 2年生…7級 3年生…6級
4年生…5級 5年生…4級 6年生…3級
＊なわとびは、ギャラリーや三陽ルーム、ワークスペースで練習する。

体育館のつかいかた

1. 次の場所は、勝手に入らない(行かない)。
○ステージ、用具室、物置、ギャラリーの階段の上など
2. 次のものに、勝手にさわらない。
○収納庫の椅子や机、登り棒や登り綱、チェーン、バスケットリング、
スイッチ類、かぎ、カーテン、AEDなど
3. ボールは、わざと壁や天井に当てない。
4. 用具を運ぶときは、床を傷つけないように運ぶ。
5. ギャラリーではボール遊びはできない。
6. 休み時間は、ボールをけて遊ばない。

グラウンドのつかいかた

1. 道具の使い方を守って遊ぶ。
2. グラウンドに水たまりがある時やぬかるんでいる時は、遊ばない。
3. 一輪車はグラウンドで乗り、決められた場所に片づける。
4. グラウンドから校舎に戻るときは、マットで砂やどろを落としてから入る。
5. 登下校の時は、グラウンドを通らない。
6. グラウンドの周りの道路や玄関前では遊ばない。
7. 冬の雪遊びは、昇降口に一番近い山で行い、そりはグラウンド側にすべる。



プールのつかいかた

1. プールに入る順序
 - ①トイレに行く
 - ②着替える
 - ③準備運動をする
 - ④シャワーで体を洗う
 - ⑤プールに入る
 - ⑥プールから上がる
 - ⑦シャワーで体を洗う
 - ⑧タオルで体をふく
2. 水泳学習の時は、お家で体調を確認し、家の人からメールで送ってもらう。

体調が悪い時はプールに入ることができない。

3. 決められた場所で着替える。
4. ぬいだシャツやパンツは、袋に入れて、決まった場所に置く。
5. 帽子は、指定のもの（学年カラー）をかぶる。
6. プールに入る前にすること

- ①トイレに行く。
- ②髪を帽子の中に入れる。
- ③準備運動をする。
- ④シャワーで体をきれいにする。



7. プールに入っている時は次のことに気をつける。
 - ①プールの中に大便や小便をしない。
 - ②たん、つば、鼻水はオーバーフローに流す。
 - ③飛び込みはしない。
 - ④おぼれたまねやいたずらはしない。
 - ⑤コースロープは下をくぐる。

8. プールの周りで次のことに気をつける

- ・周りを走ったり、ふざけたり、大声を出したりしない。

9. プールからあがったら

- ①体をきれいに洗う。
- ②体をきちんとタオルでふく



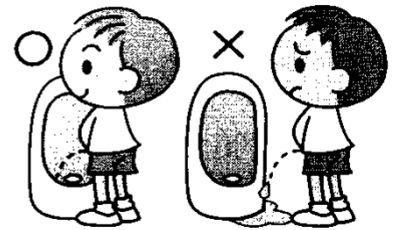
10. その他

- ①つめを切り、体を清潔にしておく。
- ②ばんそうこうは、つけて入らない。
- ③学習のルールを守れない人はプールに入ることができない。

トイレのつかいかた

○できるだけ便器に近づいて用を足す。

○トイレットペーパーは大切に使う。



○水を必ず流す。

○用がすんで、出る時はもう一度ふりかえって確かめる。

○よごしたら、トイレットペーパーでふきとる。

○レバーは、必ず手でおす。足では絶対にしない。

○次の人のことを考えて、正しく使う。

○備え付けの紙以外は、絶対に流さない。



○トイレには、用がなければ入らない。

(遊びやおしゃべりの場所にはしない)

○手をきれいに洗う。

○床に水をこぼさない。こぼしたら自分でふく。



歯みがきのしかた

○給食を食べたら、きれいに歯をみがく。

○鏡を見て、歯ブラシが歯にしっかり当たっているか確認しながらみがく。

・月に一度は、歯ブラシの毛先をチェックする。

後ろから見て、毛先が見えたら交換する。

・歯ブラシのヘッドの大きさは、自分の前歯2本分より小さいぐらいのものを使う。

・軽い力で小刻みに動かしてみがく。

○歯ブラシは、毎日洗って乾かす。





タブレット型パソコン活用のルール

学習内容をよりよく理解したり、学びをより豊かにしたりするため、タブレット型パソコンを上手に活用していきましょう。ルールを守って、安全に楽しく学習を進めていきましょう。

0. 使用の制限について

- ◎タブレット型パソコンをどのように使っているか（学習にどのくらい使っているか、インターネットのどのページをどのくらい見ているかなど）は管理をする教育委員会で見る事ができます。
- ◎安全面や健康面を考えて、個別に連絡をすることもあります。
- ◎「タブレット型パソコン活用のルールについて」を守れないときは、タブレット型パソコンを使用できなくなることがあります。

1. タブレット型パソコンは誰のもの？

自分が使うタブレット型パソコンは自分専用ですが、「自分のもの」ではなく、「鶴岡市から借りているもの」です。中学3年生まで使うと、次の小学1年生が使いますので、大切に使います。

2. 使う目的

タブレット型パソコンは学習活動のために使います。SNSやゲームなど、学習以外のことには使いません。

3. 使っている場所

タブレット型パソコンを使っている場所は、以下のような場所です。



・学校 ・自分の家 ・学童保育所 ・コミュニティセンター ・公民館 ・図書館

・パスワードで保護された無線LANのところ ・修学旅行や校外学習先 など

インターネットは、安全に使えるところだけで使います。パスワードで保護されていない無線LANのところ（コンビニなど）では、使いません。道路などは危ないので、登下校の途中では使いません。

4. インターネットを安全に使うために

学習活動以外のサイトは表示できないように設定されていますが、間違ってもしも危険なサイトを表示してしまったときは、大人に知らせます。



5. 自分の家で使うとき

1日の中で使う時間を、家の人とよく話し合います。家で十分に充電をして、学校にもってきます。

6. 使うときに気を付けること



- 落としたり、水にぬらしたりしないように、注意して使いましょう
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くには置きません。• 磁石に近づけません。
- 物の下（バッグ内の下の方など）や地面には置きません。
- 画面はタッチパネルになっているので、指や専用のペン、鉛筆（2B以上のやわらかさ）を使って操作することができます。（シャープペンシルやボールペンは使用しません）
- タブレットを持ち運ぶ際には、必ずケースに入れて持ち運びましょう。
- 画面をきれいにするときは、「乾いた柔らかい布」でふきます。ティッシュは使いません。

7. 健康のために

目を画面に近づけすぎないようにします。1日の中であまり長い時間使わないようにします。30分使ったら1度遠くの景色を見るなど、ときどき目を休ませます。

8. カメラでの撮影

○撮影する目的をはっきりさせて使うようにします。

○カメラで人を撮影したり、人の家や持ち物などを撮影したりするときは、勝手に撮影しないで、撮影する相手や場所の許可をもらってから撮影します。

9. データの保存^{ほぞん}

タブレット型^{がた}パソコンで^{つく}作ったデータや撮影した写真、インターネットから^と取り込んだデータは、^{がくしゅうかつどう}学習活動に必要なものだけを保存^{ほぞん}します。



10. 個人情報^{こじんじょうほう}など

○自分のタブレット型^{がた}パソコンを他の人^{ほか}（兄弟^{けいだい}にも）に貸^かしたり使^{つか}わせたりしません。

○タブレット型^{がた}パソコンなどのパスワードは、書^かいた紙^{かみ}をはったり、他の人^{ほか}に教^{おし}えたりしません。

○お金^{かね}が必要^{ひつよう}になるサービスは利用^{りよう}しません。 ○許可^{きょか}なく、メールやファイルなどを送^{おく}りません。

○自分^{じぶん}や他の人^{ほか}の個人情報^{こじんじょうほう}（名前^{なまえ}や住所^{じゅうしょ}・電話番号^{でんわばんごう}・写真^{しゃしん}など）は、インターネットに情報^{じょうほう}を載^のせたり、他の人^{ほか}に送^{おく}ったりしません。

○X^{エックス}やTikTok^{ティックトック}、Instagram^{インスタグラム}、LINE^{ライン}などのSNS^{エスエヌエス}の登録^{とうろく}・利用^{りよう}はしません。

○相手^{あいて}を傷^{きず}つけたり、いやな思い^{おも}いをさせたりすることは絶対^{ぜったい}に書き込み^かしません。



11. ダウンロード、アップロードについて

○音声^{おんせい}・音楽^{おんがく}・画像^{がぞう}・動画^{どうが}・ソフトウェア・アプリなどを、ダウンロードしたりアップロードしたりしません。

12. 調子^{ちょうし}が悪^{わる}くなったときや故障^{こしょう}したとき

タブレット型^{がた}パソコンの調子^{ちょうし}が悪^{わる}くなったり、壊^{こわ}れたり、なくなったりしたときは先生^{せんせい}に知らせます。わざと壊^{こわ}してしまったときやなくしてしまったときは、修理^{しゅうり}や新^{あた}しいものを買^かうためのお金^{かね}を負担^{ふたん}してもらうことがあります。

